

和歌山縣報

號

外

大正八年四月十日

○縣令

○和歌山縣令第二〇號

自轉車取締規則左ノ通相定ム

大正八年四月十日

和歌山縣知事 池松時和

第一條 本則ニ於テ自轉車ト稱スルハ足踏自轉車並ニ自動自轉車又ハオートベツドノ類自動車取締令ニ依リ同

令全部ノ適用ヲ受ケ謂フ
クルモノヲ除ク

第二條 自動自轉車又ハオートベツドノ類ノ所有者ハ其ノ住所氏名年齢

法人ニ在リテハ其ノ名稱事務所所在地及代表者ノ氏名

及車輛ノ種類面數ヲ所轄警察官署ニ届出テ記番號ノ指示ヲ受ケヘシ

前項ノ記番號ハ金屬製トシ左ノ難形ニ從ヒ方二寸以上ノ文字ヲ以テ黒地ニ白書シ車體ノ後部賭易
キ箇所ニ之ヲ固着スヘシ但シ適當ナル泥除アルモノハ其ノ泥除ニ記載スルヲ妨グス

形 態

岩

一 二 三

記番號ハ常ニ明瞭ナラシムヘシ

第三條 前條第一項ノ事項ニ異動ヲ生シ又ハ其ノ使用ヲ廢止シ若ハ讓受相續シタルトキハ五日內ニ所轄警察官署ニ届出ツヘシ但シ讓受ノ場合ニ在リテハ讓渡人ノ連署ヲ要ス

移轉シタル住所又ハ讓受人ノ住所他ノ警察官署ノ管轄ニ係ルトキハ新ニ記番號ノ指示ヲ受クヘシ

第四條 記番號ノ標示ナキ自動自轉車又ハオートモビッドノ類ハ之ヲ使用シ又ハ使用セシムルコトヲ得ス

第五條 自轉車ニ容器ヲ裝置セムトスルトキハ左ノ制限ニ從フヘシ

一 容器ノ大サハ三輪車ニ在リテハ長サ三尺以內幅二尺五寸以內二輪車ニ在リテハ長サ二尺以內幅一尺五寸以內タルヘキコト

二 容器ノ高サハ地上四尺以內タルヘキコト

第六條 道路又ハ公衆ノ自由ニ交通スヘキ場所ニ於テ自轉車ヲ乗用スル者ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ
一 二十間以上ノ距離ニ於テ容易ニ聴取シ得ヘキ音響ヲ發スル信號器ヲ裝置スルコト

二 道路ノ交叉部又ハ街角若ハ交通頻繁ナル場所ヲ通行スル場合ニ於テハ絶ヘス信號器ヲ鳴ラシ且ツ徐行スルコト

三長大ノ物件ヲ携帯若ハ搭載シ又ハ諸車ヲ轆行スヘカヲサルコト

四容器ヲ裝置シタル自轉車ニ在リテハ地上ヨリ高サ四尺以上ニ積上テハカヲサルコト

五座席以外ニ乗車シ又ハ乗車セシムヘカヲサルコト

六同時ニ兩手ヲ把手ヨリ離シ其ノ他異様ノ乗車ヲ爲サザルコト

七曲乘又ハ練習ヲ爲ササルコト

八諸車ト並行シ又ハ競走スヘカヲサルコト

九夜間ハ車輛ノ前部ニ適當ノ燈火ヲ點スヘキコト

十汽車電車又ハ自動車等ノ直前ヲ横斷シ又ハ追隨スヘカヲサルコト

十一銘附シタル者又ハ乗車不熟練ノ者ハ乗車スヘカヲサルコト

十二警察官吏ニ於テ學手其他ノ方法ヲ以テ停車ヲ命ゼタルトキハ直チニ停車スヘキコト

第七條 本則第二條乃至第六條ノ規定ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第八條 十四歳未満ノ者又ハ禁治産者本則ニ違反シタルトキハ本則ニ依リ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス

第九條

法人ノ代表者又ハ其ノ雇人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本則ニ違反シタルトキハ本則ニ規定シタル罰則ハ之ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

附 則

第十條

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條 現ニ自動自轉車又ハオートベツドノ類ヲ所有スルモノハ本令施行後三十日內ニ本則第二

條ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條 明治四十三年八月縣令第三十六號自轉車取締規則ハ之ヲ廢止ス

○和歌山縣令第二一號

自動車取締令施行細則左ノ通相定ム

大正八年四月十日

和歌山縣知事 池松時和

第一條 自動車ハ別ニ告示ヲ以テ指定シタル道路ノ外市及其ノ連帶地ニ在リテハ幅員三間未満其ノ他ノ地ニ在リテハ幅員二間未満ノ道路ニ於テ運轉スルコトヲ得ス但シ特ニ當廳ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條 貨物積卸其他特種ノ事由ニ因リ一時必要ナル場合ニ於テハ其ノ事由日時通路ヲ具シ營業事務所所在地又ハ住所地所轄警察官署ノ許可ヲ得テ前條ノ制限ニ據ラサルコトヲ得

第三條 自動車ノ速度ハ市及其ノ連帶地準市街地及夜間ハ一時間十二哩ヲ超過スルコトヲ得ス前條ニ依リ許可ヲ得タル場合亦同シ

街角橋上阪路又ハ往來雜沓ノ場所ニ於テハ交通上危險ヲ及ボササル程度ニ徐行スヘシ

第四條 自動車ヲ用ヒテ他ノ車ヲ牽クコトヲ得ス但シ警察官署ノ許可ヲ得タルトキ及進行中故障ヲ生シタル他ノ自動車ヲ牽ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條 自動車ハ自動車取締令(以下單ニ取締令ト稱ス)第四條ニ依ルノ外左記各號ノ構造裝置ヲ具備スルコトヲ要ス

一全長十四尺以內幅外法六尺以內タルヘキコト

二泥土汚水ヲ放射セサル適當ナル裝置ヲ有スヘキコト

三客室ニハ適當ノ光力ヲ有スル燈火ヲ設備スヘキコト

サイドカー附自動自轉車及オートフライヤーノ類ニ在リテハ取締令第四條第二號第三號第八號ノ構造裝置ニ適合セサルモ特ニ検査証ヲ與フルコトアルヘシ

第六條 取締令第二三條ニ依ル車輛番號ハ黒地ニ方五寸以上ノ亞刺比亞文字ヲ以テ白書シ漢字ヲ以テ和ノ字ヲ冠スヘシ

第七條 取締令第五條第一項ニ依ル検査願ニハ左ノ事項ヲ具スルコトヲ要ス

一族籍住所氏名生年月日法人ニ在リテハ其ノ名稱事務所所在地代表者ノ氏名
二用途

三原動力ノ種類原動力機ノ名稱箇數馬力及其ノ構造明細書

四車輛ノ重量箇數及構造明細書並圖面

五制動機變速機音響器其ノ他ノ附屬機械器具ノ種別箇數並説明書

六客車ニ在リテハ乗客ノ定員貨車ニ在リテハ其ノ最大積載重量

七燃料ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ種類及一時間ノ消費量

八車輛ノ型式製作所製作年月及經歷

取締令第五條第二項ニ依ル願書ニハ前項第一號第三號乃至第八號ノ事項ヲ具スルコトヲ要ス
第八條 取締令第六條ニ依ル届書ニハ前條第一項 商品トシテ譲受人又ハ相續シタノ事項ヲ具シ新ニ
ルモノニ在リテハ前條第二項

検査ヲ受ケ且ツ検査証ノ書換ヲ受ケルコトヲ要ス 但シ本縣ニ於テ検査ニ合格シタル自動車ニ在リテハ必要ナル事項ノ外ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第九條 試運転又ハ運搬等ノ爲一時自動車ヲ使用セムトスル者ハ族籍住所氏名法人ニ在リテハ其ノ名稱事務所所在地代表者ノ運轉ノ日時道筋及運轉手ノ住所氏名ヲ具シ其ノ運轉手免許証寫ヲ添ヘ主タル運轉地所轄警察官署ノ許可ヲ受ケヘシ

試運転又ハ運搬中ハ車輛ノ前部及後部ニ其ノ旨明瞭ニ表示スヘシ

第十條 自動車検査ノ際ハ使用者又ハ所持者若ハ運轉手之ニ立會ヒ検査員ノ指示ニ從フヘシ
検査員ニ於テ検査ヲ行フ爲必要アリト認マルトキハ機械器具ノ分解其ノ他ノ措置ヲ命スルコトアルヘシ

運轉手技能試験ノ際ハ試験員ノ指示ニ從ヒ自動車ヲ運轉スヘシ

第十一條 取締令第十二條ニ依ル運轉ノ業ヲ營マムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ願出ツヘシ

一族籍住所氏名生年月日法人ニ在リテハ其ノ名稱事務所所在地代表者ノ氏名及定款寫

二營業事務所所在地

三營業種別（旅客又ハ貨物運搬、貸自動車ノ別）

四車輛ノ數型式並検査証寫及乘客定員若ハ最大積載重量

五賃金（乗車賃金、貸車賃金、貨物運賃ニ在リテハ重量容積及箇數ニ依リ區別スルコト）

六車輛ノ發着時刻又ハ營業時間

七 駐車場又ハ車輛置場ノ位置構造設備

一定ノ路線又ハ區間ニ據ルモノニ在リテハ前各號ノ外其ノ路線又ハ區間並路線ノ幅員ヲ表示
シタル圖面添テ付スヘシ

第一項 第三號第五號乃至第七號ノ事項又ハ前項ノ路線若ハ區間ヲ變更セムトスルトキハ當廳
ノ許可ヲ受ケヘシ第十二條許可ヲ受ケタル駐車場又ハ車輛置場ノ新築増築又ハ改築工事落成
シタルトキハ所轄警察官署ニ届出其ノ検査ヲ受ケタル後ニ非サレハ使用スルコトヲ得ス

第十三條 運轉手ヲ附シ自動車ヲ供給スル事業トスル者ハ本則第十一條ノ運輸營業者ト看做ス

第十四條 取締令第十五條ニ依ル運轉手ノ願書ニハ左ノ事項ヲ具備スルヲ要ス

一族籍住所氏名生年月日

二 履歷書

三 寫眞(手札形半身無臺紙)二葉

他府縣ニ於テ運轉手ノ免許ヲ受ケタル者其ノ主タル就業地ヲ本縣内ニ變更シタルトキハ前項
ノ事項ヲ具備シ免許証ノ書換ヲ受ケタルコトヲ要ス

第十五條 運轉手ノ試験ハ自動車ノ構造、取締規則(自動車取締令同施行細則及道路取締規則ノ如
キ運轉手ノ就業上必要ナル規則)及實地ノ技能ニ就キ之ヲ行フ

第十六條 一定ノ路線又ハ區間ニ據リ旅客運輸ノ業ヲ營ム者ハ車輛毎ニ運轉中車掌一名乗車セシム
ヘシ但シ特ニ當廳ノ許可ヲ受ケ運轉手ヲシテ車掌ノ業務ヲ兼ネシムルコトヲ得

第十七條 車掌タラントスル者ハ族籍住所氏名生年月日ヲ具シ寫眞(手札形半身無臺紙)二葉ヲ添ヘ
當廳ニ願出免許ヲ受ケヘシ

第十八條 取締令第十五條第三項第十六條乃至第十九條第二十二條及其ノ罰則ノ規定並第二十七條ノ規定ハ車掌ニ關シ之ヲ準用ス

第十九條 運轉手及車掌ハ就業中左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一 酒氣ヲ帶ヒテ業務ニ服スヘカラサルコト

二 乘客又ハ公衆ニ對シテハ懇切ヲ旨トシ不快ノ感ヲ抱カシムルカ如キ言行ヲ爲スカヘラサルコト

三 警察官吏ニ於テ學手其ノ他ノ方法ヲ以テ停車ヲ命シタルトキハ直ニ停車スヘキコト

四 強ク乗車ヲ勸誘シ又ハ定員外ノ客ヲ乗セ若ハ定員以上ノ貨物ヲ積載スヘカラサルコト但シ十歳未満ノ者ハ二人ヲ以テ一人ト看做シ五歳未満ノ者ハ定員ニ算入セス

五 名義ノ如何ニ拘ラス定員以上ノ貨物ヲ請求スヘカラサルコト

六 車輛外ニ張出スヘキ長大ノ物件ハ之ヲ積載スヘカラサルコト但特ニ警察官署ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

七 夜間運轉スルトキハ所定ノ燈火ヲ照レ消燈セサル様注意スヘキコト

八 運轉手臺ヲ離レムトスルトキハ完全ニ機械ノ運轉ヲ停止シ且ツ他人ノ溜リヨ之ヲ運轉スルコト能ハサル様注意スヘキコト

九 法定傳染病患者又ハ其ノ疑アル者他人ノ厭忌スヘキ病狀アル者附添人ナキ精神病者泥醉者其ノ他暴行ノ虞アル者及危害ヲ及ボスヘキ虞アル獸類又ハ物品ヲ携帯スル者ハ之ヲ乗車セシメサルコト但シ一車屢切ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

十發車時刻ノ定アルモノニ在リテハ其ノ時刻來リタルトキ其ノ定ナキモノニ在リテハ乘客定

員ノ半數ニ滿チタルトキハ正當ノ事由ナクシテ發車ヲ拒ムヘカヲサルコト

十一牛馬ニ近ククトキハ速度ヲ緩メ狂奔セシメサル様注意スヘキコト

十二泥濘ノ場所ヲ通過スルトキハ泥土汚水ヲ放射セサル様注意スヘキコト

運轉手ハ前各號ノ外向左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一鐵道又ハ專用軌道ノ踏切ヲ通過セムトスルトキハ一旦停車シ安全ナルコトヲ確メタル後ニ
非サレハ通過セサルコト

二信號人配置ノ場所ニ於テハ無難信號アルニ非サレハ進行セサルコト

三他ノ自動車ト並行シ又ハ他ノ車馬ト競走スヘカラサルコト

四二車以上連續シテ行進スルトキハ後車ハ前車ニ對シ適當ノ距離ヲ保ツヘキコト

五車馬道ニ在リテハ左側其ノ設ケナキ道路ニ在リテハ中央ヲ進行スヘキコト

第二十條 一定ノ路線又ハ區間ニ據ル旅客運輸自動車ノ乘客ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一放歌喧嘩其ノ他他人ノ迷惑トナルヘキ行爲ヲ爲スヘカラサルコト

二同乗者ニ不快ノ感ヲ起セシムヘキ不潔ノ容裝ヲ爲ササルコト

第二十一條 本則第七條第一項第一號第二號第十一條第一項第一號第二號第四號ノ事項ニ異動ヲ生
シタルトキハ遲滞ナク届出ツヘシ

第二十二條 運轉手車掌廢業シタルトキハ遲滞ナク免許証ヲ返納スヘシ

本則第十四條第一項及第十七條ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滞ナク届出免許証ノ書換ヲ受ク
ヘシ

第二十三條 所轄警察官署ニ於テ必要アリト認ムルトキハ運輸營業線路ニ常時又ハ臨時信號人ノ設置ヲ命スルニトシ得

第二十四條 故意又ハ過失ニ因リ本則第四條第六條第九條第二項第十一條第三項第十二條第十六條第十七條第十九條乃至第二十二條ノ規定又ハ第十條第十八條第二十三條ニ依ル處分ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十五條 自動自轉車サイドカー附ノモノヲ除ク及オートモビッドノ類ニ付テハ其ノ運轉者ニ對シ本則第三條ノ規定ヲ適用スルノ外本則ヲ適用セス

第二十六條 取締令及本則ニ依リ當廳ニ差出スヘキ願届ハ所轄警察官署ニ以上ノ警察官署ノ管轄ニルモノニ在リテハ營業事務所所在地其ノヲ經由スヘレ
他ノモノニ在テハ住所所轄警察官署
係ルトキハ營利ヲ目的トス

附 則

第二十七條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十八條 本則施行前ニ於テ車掌ノ免許ヲ受ケタル者ハ本則施行後五十日以内ニ本則ニ依リ免許ヲ受クヘレ

○和歌山縣令第二二號

明治四十年三月縣令第十五號石油取締規則中左ノ通改正ス

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正八年四月十日

和歌山縣知事 池松時和

第十一條 營業ノ目的ニアラスト雖石油十箱以上ヲ藏置スル者ニハ本則ヲ準用ス

第十二條 本則ハ揮發性石油ニ對シ之ヲ適用ス

揮發性石油ヲ格納シ得ヘキ數量ノ制限ハ本則合條ニ於テ定メタル石油ノ數量ノ各其ノ五分ノ一以
内トス

第十八條 中第七條乃至第十一條「トアルヲ」第七條乃至第十條第十二條「ト改ム

○ 告 示

○和歌山縣告示第一一九號

自動車取締令施行細則第一條ニ依リ左ノ道路ヲ指定ス

大正八年四月十日

和歌山縣知事 松池時和

大正七年十月告示第三一五號ヲ以テ指定シタル道路

但同告示第一號圖面中左ノ通朱線ヲ追加ス

一洲崎町兵營前通、茶屋ノ町、南汀町、久保町一丁目、二丁目、三丁目、小野町、湊本町
通、新中通三丁目ヨリ新堺町ニ至ル道路及三木町堀詰ヨリ堀詰橋ヲ渡リ西へ濱通雜賀町道
路

和歌山縣報外

第三號

大正八年四月十日

一三

大正八年四月四日印刷
大正八年四月四日發行
每星期六日全日發行

和歌山縣知事官房

印刷人 和歌山市四番丁壹番地
和歌山市四番丁壹番地

れ